

企業の取組事例紹介

- スムーズBiz キックオフイベント 令和元年5月29日(水)10:00 ~ 11:30
- 10の企業及び団体が自社のスムーズBizの取組について紹介

企業・団体名	主な取組内容
NEC	オリンピック期間の1週目は全社員が連続在宅勤務、2週目は全社一斉夏季集中休暇の実施 パラリンピック期間中の1週間において連続で在宅勤務、2日以上の有給休暇の推奨
JTB	各支店・店舗及びグループ会社で在宅勤務・オフピーク通勤の実施、 年休や夏季休暇の取得を促進
SMBC信託銀行	休暇取得、時差Bizの実施、テレワーク推進、夏の2週間主要会議を原則禁止
全日本空輸	帰省先でテレワークを行う「テレさとワーク」の推奨
東日本旅客鉄道	スムーズBizの広報活動を計画・特典付与等によるオフピーク通勤の促進
鹿島建設	モデル現場(公共・民間)を設定し、工事車両の削減やオフピーク時間帯での搬出入、東京2020大会期間後半の現場全休の実施
キューピー	「翌々日納品」によるリードタイムの確保と「簡素な検品レス」による物流効率化
ヤマトホールディングス	宅配便ロッカーなど受取場所拡大による再配達への抑制、 外国人旅行者の手荷物配送による鉄道混雑の緩和
ケービーエスクボタ	内陸コンテナデポを活用した空コンテナ輸送の削減により、臨港部の渋滞を緩和
東京都社会保険労務士会	会員を通じて、企業へのスムーズBiz取組周知

企業への参画呼びかけ

〔企業向け説明会〕

- 交通需要マネジメント(TDM)推進に向けた企業向け説明会を2017年6月から実施
- 参加人数は延べ約7,000名(2019年5月末現在)
- 2019年度中に説明会を約300回開催予定

〔無料の個別コンサルティング〕

- アクションプラン作成のための個別コンサルティングの実施 (2019年度 3,600回程度予定)
※2020TDM推進プロジェクトへの参加登録が必要



広報活動について

- 企業等を中心に、試行実施の周知及びTDMへの協力呼びかけを行う

〔試行の広報〕

- 6/7(金)に記者発表したポスターを、企業や鉄道事業者の皆様、東京圏の自治体などにご協力をいただき周知

掲載箇所:

コンビニ/鉄道駅・車内/公共施設(東京圏)/スポンサー/TDM-P協力者 など

- また、スムーズBizPR用動画により各媒体を用いて、推進期間中の取組を普及していく

放映箇所:

鉄道駅・車内/公共施設(東京圏)/TVCM/デジタルサイネージ

東京の夏、
来年の夏、
日本の夏。

来年の夏の東京2020オリンピック・パラリンピック期間中、
延べ1000万人*以上のお客様をお迎え致します。
それにもない東京の道路や鉄道にも
大きな混雑が懸念されます。
テレワーク・時差通勤・物流の工夫など、
一人一人の協力が必要となります。

東京を訪れる世界中の人々と、
ここに暮らしている私たちが気持ちよくいるために、
今年の夏 はじめよう、スムーズBiz。

住んでいる人も、訪れる人も、より快適な東京へ

スムーズBiz

東京2020大会1年前となる今年の夏
スムーズBiz推進期間を設けます。
ぜひこの機会に取り組んでみませんか。

2019 スムーズBiz推進期間
7.22(月) ▶▶▶ 9.6(金)

東京都は企業の皆様にご協力を依頼しております。
*2019年10月1日現在推定値

3つの取組で、新しい働き方の東京モデル

テレワーク
働く時間と場所を
柔軟に選んで仕事
をこなす

時差Biz
ピーク時間を避けて
勤務先より徒歩圏
内勤務

2020TDM
2020大会開催中
は、公共交通機関
利用を推奨

東京都

TEAM 2020 ACTION
スムーズBiz
TELEWORKDAYS
2020 TDM

2020TDM推進プロジェクトのシンボルマーク

- ▶ プロジェクト参加企業内での理解と各社取組の更なる普及を促すため、各種取組を組織内外へ発信する際に利用可能な、シンボルマークを作成



〔シンボルマークの使用イメージ〕

社内報への掲載

名刺への掲載



- ▶ 2020TDM推進プロジェクトのホームページで、プロジェクト参加企業によるダウンロードが可能